

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛媛県		市町村名	今治市		地区名	今治市中心市街地地区			面積	約157ha		
交付期間	平成24年度～平成28年度		事後評価実施時期	平成29年度		交付対象事業費	969,828千円	国費率	33.10%				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	事業名 道路(片原町2号線・交通ターミナル整備)、地域生活基盤施設(今治港駐車場整備・今治港広場(海のコンコース)整備・今治市公会堂耐震改修)、高質空間形成施設(今治港緑化施設整備)、高次都市施設(地域交流センター整備・観光交流センター整備・附置駐車場整備)									
			提案事業	地域創造支援事業(自転車憩いの場設置・サイクルステーション設置・今治市公会堂改修)、まちづくり活動推進事業(まちなかライトアップ)									
	当初計画から削除した事業		基幹事業	道路(片原町2号線・交通ターミナル整備)	削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
			提案事業	地域創造支援事業(サイクルステーション設置)	高次都市施設(観光交流センター整備)に機能を整理して整備したため		変更なし						
	新たに追加した事業		基幹事業	地域生活基盤施設(自転車駐車場整備)	実施設計完了による事業の追加		変更なし						
			提案事業	なし									
交付期間の変更		当初	平成24年度～平成28年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
		変更	なし										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
	指標1	市内外からの転入・転居人数	人/年	457	H22	510	H28	431	304	×	あり なし ●	本事業による交流人口の拡大を、居住人口の拡大にまでつなげることができなかったが、まちの魅力向上を契機としてまちなか居住の促進につなげていく。	H32年度内
	指標2	中心市街地を回遊する歩行者及び自転車の通行量	人	2,675	H22	3,300	H28	2,556	2,629	△	あり なし ●	目標値には達していないものの、イベント開催時の調査では3,370人の通行量があり本事業の効果は表れている。	H32年度内
	指標3	市民の中心市街地の満足度	%	12.6	H22	17.6	H28	13.0	13.6	△	あり なし ●	目標値に達していないものの中心市街地に対する満足度は向上している。これからも市民の自発的なまちづくり活動と連携していく。	H32年度内
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
	その他の数値指標1	今治市公会堂利用回数	回/年	91	H23	/	/	-	104	/	/	市の歴史的遺産でもある公会堂を改修することで、機器の更新や新たな機能の導入が図られ、利便性が向上した。	
その他の数値指標2	今治港自転車乗降数	台/日	47	H23	/	/	-	166	/	/	高次都市施設(観光交流センター整備)にサイクルステーションを設置した結果、船を利用したサイクリストが飛躍的に増加した。		
4)定性的な効果発現状況	<p>・平成28年7月30日にオープンしたみなと交流センターでは、ホール・キッチンスタジオ・セミナールームの市民利用や、公共空間を利用したマーケットの開催、また施設を拠点に活動する団体が増えるなど、まちの活力や魅力の向上がもたらされている。</p> <p>・機能を整理して整備した観光交流センター整備(サイクルステーション設置)の施設は多くの利用者が訪れ今治港の魅力向上につながっている。</p> <p>・提案事業で実施された今治市公会堂のライトアップは来訪者の評判もよく、継続的に展開されている。</p>												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	第2期今治市中心市街地再生基本計画(平成28年～32年)策定にあたり各指標を測定	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	定期的に行なわれる通行量調査や、今治市中心市街地再生基本計画の更新等にあわせ、随時数値を確認する。								
	住民参加プロセス	地域交流センター整備・観光交流センター整備・附置駐車場整備(みなと交流センター)の愛称募集を実施	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	中心市街地のにぎわい交流の拠点として、公共空間の市民利用促進に努める。								
持続的なまちづくり体制の構築	特定非営利活動法人 今治シビックプライドセンターの設立	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	今治港を起点とし世代を超えた市民の交流の場を創造する当団体と、今後も協働していく。									

## 様式2-2 地区の概要

今治市中心市街地地区(愛媛県今治市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
<b>大目標</b> 今治市の中心地域としての役割・価値・魅力を高め、「ひと」と「まち」とのつながりを増やし、誰もが今治を実感できるまちへと再生する 目標1 まちなか空間創出による「にぎわいづくり」 目標2 自転車による「持続可能なまちなか進化」 目標3 まちなかデザイン創出による「今治らしさの具現化」	市内外からの転入・転居人数	単位: 人/年	457 H22	510 H28	304 H29
	中心市街地を回遊する歩行者及び自転車の通行量	単位: 人	2,675 H22	3,300 H28	2,629 H29
	市民の中心市街地の満足度	単位: %	12.6 H22	17.6 H28	13.6 H29
	今治市公会堂利用回数	単位: 回/年	91 H23		104 H28
	今治港自転車乗降数	単位: 台/日	47 H23		166 H28

今治港駐車場整備

今治港広場(海のコンコース)整備

自転車駐車場整備

自転車駐車場整備

地域交流センター

みなと交流センター整備

今治港緑化施設整備(トイレ)

今治港緑化施設整備

自転車憩いの場設置

まちなかライトアップ(公会堂)

今治市公会堂耐震改修

今治市公会堂改修(設備)

**まちの課題の変化**

- ・みなと交流センター周辺での新たなイベント開催など、交流人口の拡大にはつながったが、居住人口の低下に歯止めをかけるには至っていない。
- ・施設整備によるイベント利用の増加により、中心市街地への来訪機会や滞在機会を増やすことにつながり、また新施設は市民活動の拠点ともなった。
- ・サイクルステーションも一体として整備されたことで、サイクリストの交流拠点となった。

**今後のまちづくりの方策(改善策を含む)**

- ・【来訪の機会や滞在時間の増加】⇒まちなかの回遊性を高め、長時間中心市街地に来街者を留め、憩いや楽しさを演出できる各種イベントなどの取り組みを実施・支援する。
- ・【市民活動の拠点整備】⇒中心市街地や広小路等の連続する地域活性化の核として利用促進を図ると共に、にぎわい創出事業の企画実施や市民の学びの場の創出に当たっては相互に連携し、補完しながら事業を実施する。
- ・【サイクリストの交流拠点の誘致】⇒サイクルシティ構想との連携を図り、自転車で暮らせるまちであることを前面に押し出し、駐輪場等の整備を行う。
- ・【まちなか居住への各種支援】⇒中心市街地に住むメリット、まちなかならではの暮らし方や魅力をPRし、まちなか居住への関心を高める。